



# 青果市場

**場所** 東開町11-1  
**昨年の取扱高** 約672トン/日  
 約1億3500万円/日  
**競りの開始時間** 7時～  
 43年ぶりにリニューアル。市場内の作業環境がこれまで以上に充実し、より機能的で魅力と活力にあふれた市場になりました。



青果市場 田代 主査

安定した供給を行うため、全国や海外から集荷しています。県内はもちろん、離島や沖縄にも青果物を届け、市内外の皆さんの食を支えています。

## 野菜をたくさん食べて健康に

7月～10月は、地元で消費する分を全国から集める消費地市場という役割に、11月～6月は、県内で生産された豊富な品物を全国に出荷する産地市場という役割を担います。市場の仕事は仕入れや入荷などの調整が難しいですが、やりがいがあります。

寒くなってくると、野菜がたくさん食べられ、暖も取れる鍋が良いですね。シュンギクや白ネギ、ダイコンなどがお薦めなので、ぜひ食べてください。



鹿児島中央青果株式会社 代表取締役専務 池田 学 さん

## 市場のプロに聞く

今、食べて欲しい旬のもの



鹿児島市水産物卸売協同組合 理事長 山口 憲一郎 さん

## たくさんの人に新鮮な魚を届けたい

鮮魚仲卸業に携わって25年になります。競り落とした魚を売り、たくさんの人に届けるには、人と人のつながりが欠かせません。新鮮で安全な魚を、市民の皆さんだけではなく、全国、世界中の人たちに食べてもらえるよう、鹿児島ブランドをPRしていきたいです。これからの時期は、ハタやムツ、カンパチなどがお薦め。カンパチはしゃぶしゃぶにしてもおいしいですよ。



いろいろな種類の魚がたくさん集まります

# 鹿児島島の食を支える台所

1935(昭和10)年に九州初の中央卸売市場が洲崎町(現在の住吉町)に開設しました。私たちの食卓に新鮮でおいしい食材を安定して供給している二つの市場を紹介します。  
**【青果市場☎267-1311FAX267-1314、魚類市場☎223-0310FAX223-9817】**

## 中央卸売市場の三つの役割

- 一つ! 集荷 国内外の各地から品物を集める
- 二つ! 価格形成 公開された場で、品物の適正な価格を決める
- 三つ! 分荷 小売店や飲食業者などに小分けして売り渡す

## 市場の取引の仕組み

- ①全国の出荷者(生産者)や海外からの品物が市場に届きます
- ②卸売場での取引は、卸売業者(競り人・売人)と、仲卸業者・売買参加者(競り参加人・買う人)で競りを進めます(一般人は参加できません)  
 ※競りには、金額を声で発するのではなく、指で金額を示す「指競り」や黒板に金額を記す「黒板競り」があります
- ③仲卸売場には、スーパーや料理店の人たちが仕入れに来て、市場外のお店で販売します

**場所** 城南町37-2  
**昨年の取扱高** 約91トン/日  
 約6000万円/日  
**競りの開始時間** 5時30分～

現在建て替え中で、令和3年度に新しい市場棟が完成予定。高度衛生管理機能を備え、海外への輸出にも対応できる施設が整備されていきます。



魚類市場 迫 主事



# 魚類市場

## 彩も鮮やか! 秋の青果市場見学ツアー

**内容** 青果市場の施設や競りの見学、秋の青果物の紹介など  
**日時** 11月30日(土) 6時30分～9時  
**定員** 50人(超えたら抽選)  
**料金** 無料  
**申し込み** はがきかメールで住所、参加者全員の氏名、年齢、電話番号を11月15日までに〒891-0115東開町11-1 青果市場☎267-1311seika@city.kagoshima.lg.jpへ



## 青果市場まつり

**内容** 新鮮な野菜や果物の販売、野菜の詰め放題、模擬競りなど  
**日時** 11月10日(日) 9時～13時



市場を楽しむ絶好のチャンスです!



市場を体感し 食材を知る

お魚料理やさばき方もプロが分かりやすく解説します



## 魚をもっと知って、食べよう

魚食をより推進するために、市場関係業者と本市で“いお・かごしま”魚食普及拡大推進協議会を設立しています。定期的に料理教室や魚のさばき方教室、親子さかな市場探検隊を開催し、市場の役割や魚食の魅力などを伝えています。

